

# 産業のまち 東区の歴史

詳細は東区の  
HPよりチェック



平成9(1997)年新潟市刊行の「新潟市史(通史)編3・4・5」、別編2および新潟市史「新潟市の歴史」東区の歴史」などをもとにまとめました。関連するところからは、東区以外のごとも載せています。

## ■草創期 1895 明治28〳 「新潟鐵工所」開業

1895 明治28 日本石油会社が山の下に

「新潟鐵工所」設立

1897 明治30 沼垂駅開業

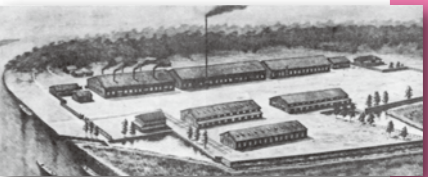
1905 明治38 「新潟健康舎」(のちの「新潟臨港」、

現「リンコーコーポレーション」)設立

1914 大正3 「北越板紙」(のちに「北越製紙」に合併・

現「北越コーポレーション」)設立

1919 大正8 「名古屋紡績新潟工場」(のちの「日東紡績新潟工場」)開設



創業当時の  
「新潟鐵工所」  
(1895)

## ■築港期 1923 大正12〳 新潟臨港の築港

1923 大正12 「新潟臨港」築港工事開始

1924 大正13 山の下に「臨港鉄道」(貨物線)開通

1925 大正14 焼島瀧埋立工事開始

1929 昭和4 新潟市都市計画で山の下「工場地帯」に指定

1930 昭和5 沼垂飛行場が旧松ヶ崎浜村に移転

市営「新潟飛行場」として使用開始



臨港埠頭の石炭荷役(昭和初期)  
「みなとびあ新潟写真帖」より

## ■戦中期 1931 昭和6〳 焼島瀧埋立と工場誘致

1934 昭和9 「新潟人絹工業」山の下に設立

1935 昭和10 「日本鋼管新潟電気製作所」上王瀬町に開設

1937 昭和12 焼島瀧埋立地に「北越パルプ」(現北越コーポレーション・

「新潟硫酸石山合成工場」開設

1941 昭和16 「焼島駅」開業(信越本線貨物支線)

※太平洋戦争開始(〜1945)

1942 昭和17 「昭和石油新潟製油所」山の下に開業

「赤道」軍用道路として設置

1943 昭和18 藤見町に「石井精密工業新潟製作所」開設

1944 昭和19 「三菱鉱業新潟金属工業所」

(のちの「三菱マテリアル」現「ダイヤモンド」)開設

※「日本鋼管」・「新潟鐵工所」などが軍需会社に指定



「北越パルプ」設立(1937)

1945 昭和20

1951 昭和26 新潟市「工場設置奨励条例」制定

「日本瓦斯化学工業」(現三菱ガス化学)榎工場

「旭カーボン」(鷗島町)など開設

1952 昭和27 「新潟飛行場」が日米安全保障条約により

アメリカ空軍の基地に

1957 昭和32 「新潟操車場」中島に開業

1958 昭和33 「新潟飛行場」日本に返還

新潟―東京間定期航空路開設



臨港町付近の工場地帯(1955頃)  
「にいがた地域映像アーカイブ・データベース」より

※このころ、天然ガス採取に伴う地盤沈下が顕著になる

## ■復興期 1964 昭和39〳 新潟地震からの復興

1964 昭和39 新潟市「新産業都市」に指定

※新潟国体・新潟地震

1966 昭和41 「木工団地」(木工新町)完成

1967 昭和42 「山の下閘門」完成

1969 昭和44 「印刷工業団地」(石材工業団地) (津島屋)完成

1973 昭和48 「新潟ハイパス」開通・「卸団地」(卸新町)完成

新潟市「工業振興条例」施行

1990 平成2 「新潟貨物ターミナル駅」開設



新潟地震で燃え続ける石油タンク(1964)  
「津波デジタルライブラリー」より

## ■変革期 2001 平成13〳 産業・工場地帯の変化

2002 平成14 「焼島駅」―「東新潟港駅」間休止

2003 平成15 2001年に経営破綻した

「新潟鐵工所」の事業を引き継ぎ、

「新潟原動機(現「H」原動機)」

「ニイガタマシンテクノ」など設立

2005 平成17 「新潟みなとトンネル」開通

2006 平成18 上王瀬町に「プレスホ赤道」(ショッピングセンター)、

翌年、錦町に「赤道ショッピングセンター」開業

「新潟雪国型メガソーラー発電所」運用開始

(旧昭和シェル石油新潟製油所跡地)



「新潟雪国型メガソーラー発電所」(2010)  
「出光興産」HPより

2021 令和3

通船川の県営第一・二貯木場 木材伐終了